

加藤澤男先生に感謝

白鷗大学教育学部教授

内山 須美子

加藤先生のデスクトップにはたくさんの写真が保存されています。研究室をお訪ねするたびにを見せていただきました。先生が、真っ先に見せてくださったのは、お庭で育てられている黄色い福寿草、紫と白の桔梗、白い芍薬のアップ。こんなにアップということは、相当近づいてしゃがんで撮られたのでしょうか。先生のその時のご様子を思い浮かべると思わず微笑んでしまいます。朝と夕方に段々と開き、閉じる様子を撮影した写真が何枚もあり、わが子のように慈しんでいらっしゃることがわかります。ずっと研究室のドアに貼られていた「淡いピンクの芍薬」は、先生のベストショットだそうです。今は、私がいただいて研究室のドアに貼らせていただいています。

続いて見せていただいたのは、昨年来日し、森喜朗氏を「弟」と呼んだトーマス・バッハ IOC 会長と、竹田恆和 JOC 会長に挟まれてセンターで微笑む先生のお写真。「こんなにすごい方達と撮ってもセンターなんだ」と誇らしい気持ちになります。日本体操界オールスター軍団が赤いジャケットを着てオリンピックに臨む凛々しい姿もありました。監物栄三、塚原光男、笠松茂、岡村輝一、そして一番前には加藤澤男先生の5ショット。当時のメディアがこぞって「史上最強」と謳ったメンバーです。選手村に激励に訪れた小野喬氏は、この申し分ないメンバーを見てテンションが上がり、「メダルを全部獲ってこい」と叫んだと教えてくださいました。天皇陛下のお茶会で、陛下から「よく頑張りましたね」とお言葉を賜る先生のお写真もありました。傍らには、現 JOC 会長竹田恆和氏のお父様、皇族の「Prince Takeda」のお姿もありました。

一方、幼少の頃のお写真にはあどけない表情が写し出されています。先生は1946年10月11日生まれ。新潟県五泉市で過ごされました。お母様との2ショットを見せてくださり、お母様からは「サー坊」と呼ばれていたことを懐かしそうに教えてくださいました。お兄様が撮影されたという、木の柵をよじ登るサー坊は小学6年生。「10年後にメキシコという国で世界で一等賞をとる人になるよ」と教えてあげたくまりました。

表彰台の一番高いところに立ち、3つ揚がった日本の国旗を見上げる先生の姿も拝見しました。「表彰台の上ではどんなことを思うのですか」と伺うと、「練習の一番良い成果で終れて良かった！という清々しい感じかな。国旗掲揚、国家吹奏が清々しさを倍増させてくれるね。でも、その時点から、世界中の選手の標的になっているとも感じていた」とのお言葉。かっこよすぎます！体操では、それを最初に公式国際大会で成功させた技にその選手の名前を付けます。最近では「シライ」。そのたびに紙面を賑わし話題となります。先生は平行棒で「カトウ」をお持ちですが、実は、先生はその命名を渋りました。先生があまりに命名を渋るので、「カトウ」は他の人がアピールしてやっと実現したほどです。金メダルが8個なのですから、先生のお名前が付いた技はもっとあっても良いのに、ひとつだけ。それには理由があります。恩師の金子明友先生が、今日のような命名のオンパレードを好まれなかったのだそうです。加藤先生は「師弟で選んだ『名無し』だからそれでよかったと思っている」と、新聞での連載の最後を締めくくっておられます。先生のお人柄がしのばれるエピソードです。

偉大な方でありながら、それを感じさせない気さくで優しい笑顔。先生が学生たちから慕われ、尊敬されるのは、世界一となる厳しさを経てこそ得られた穏やかなお人柄によるものであることは間違いありません。先生のご退職は、本学にとって極めて残念なことではありますが、今後は学外から本学の発展を見守っていただけましたら幸いです。これからもご健康に留意されますよう祈念申し上げます、惜別の辞とさせていただきます。7年間、本当にありがとうございました。

加藤澤男教授 略歴および五輪成績と受賞歴

略歴

1970年 3月	東京教育大学体育学部体育学科卒業
1974年 3月	東京教育大学大学院修士課程体育研究科修了
1974年 5月	筑波大学体育科学系技官
1975年 4月	筑波大学体育科学系助手
1976年 5月	筑波大学体育科学系講師
1988年 1月	筑波大学体育科学系助教授
1999年 7月	筑波大学体育科学系教授
2010年 3月	筑波大学名誉教授
2010年 4月	白鷗大学教育学部教授
2017年 3月	白鷗大学教育学部定年退職
2017年 3月	白鷗大学名誉教授

五輪成績

1968年メキシコ大会

団体総合	優勝
個人総合	優勝
種目別ゆか	優勝
種目別つり輪	3位

1972年ミュンヘン大会

団体総合	優勝
個人総合	優勝
種目別平行棒	優勝

種目別あん馬	2位
種目別鉄棒	2位
種目別つり輪	4位
種目別跳馬	4位
種目別ゆか	6位

1976年モンテリオール大会

団体総合	優勝
個人総合	2位
種目別平行棒	優勝
種目別ゆか	5位
種目別あん馬	5位
種目別つり輪	6位

受賞歴

1968年	平沼賞（日本体操協会）
1969年	内閣総理大臣杯（総理府）
1973年	日本スポーツ賞（読売新聞社）
1977年	スポーツ功労賞（文部省）
1995年	F.I.G名誉審判員賞（国際体操連盟）
1999年	SAWAO KATO AVENUE（シドニーオリンピック組織委員会）
2004年	紫綬褒章（内閣総理大臣）
2013年	F.I.G功労賞（国際体操連盟）
2013年	日本体操協会功労賞（日本体操協会）